

地域密着型金融の取組み状況について
(平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月)

富士信用金庫

重点事項		平成25年度中の取組み実績
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化		
(1) 創業・新事業支援	<ul style="list-style-type: none"> 外部機関等とのネットワークを活用したコンサルティング機能の発揮 	<ul style="list-style-type: none"> 創業・新事業支援融資として平成25年度は15件119百万円を実行いたしました。 コンサルティング機能の強化を図るため、商工会議所や各地域の商工会、税理士事務所など外部機関9先と連携覚書を締結いたしました。 創業補助金の申請をサポートいたしました。
(2) 経営改善支援	<ul style="list-style-type: none"> 企業に対する支援スキルの向上 外部機関等とのネットワークを活用したコンサルティング機能の発揮 	<ul style="list-style-type: none"> 営業店と融資部経営支援課が連携し、取引先の経営改善計画策定や計画実行の支援を行う態勢を整備しております。 経営改善支援ソフトウェアを導入し、取引先の経営改善計画の精度向上を図り、計画実行をサポートしております。 静岡県中小企業再生支援協議会と連携し、取引先の経営改善に取り組んでおります。 取引先の経営革新取得にあたり、情報の提供などを通じて積極的に支援いたしました。 各種補助金の申請をサポートいたしました。
(3) 事業継承	<ul style="list-style-type: none"> M&Aのマッチング支援 事業資産取得のための資金調達支援 	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県事業引継支援センター等と連携し、M&Aのマッチング支援に取り組んでおります。 取引先からの事業承継の相談に対し、必要に応じて外部機関とも連携しながら、サポートに努めております。
(4) 事業再生	<ul style="list-style-type: none"> 外部機関等との連携 再チャレンジの資金調達支援 	<ul style="list-style-type: none"> 静岡県経営改善支援センター、静岡県信用保証協会、信金中央金庫、商工会議所等と連携し、取引先の事業再生に取り組んでおります。
2. 事業価値を見極める中小企業に適した資金供給手法の徹底		
(1) 事業価値を見極める融資(不動産担保・	<ul style="list-style-type: none"> 目利き能力や審査能力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> 取引先企業の社長さんにご講演いただき、業種の特性などについて理解を深めました。 本部による営業店の融資担当職員に対する直接指導(融資トレーニー)を実施し、職員のスキ

重点事項		平成25年度中の取組み実績
個人保証に過度に依存しない融資)の徹底		ルアップに努めております。また融資係を担当できる女性職員の育成にも努めております。 ・外部機関の協力も仰ぎながら定期的に集合研修を開催し、新制度や新商品についての理解を深めております。
(2) 中小企業に適した資金供給手法の徹底	・システム格付の徹底	・取引先の財務データ等をシステムに入力して計量化を図り、不動産担保や個人保証に過度に依存しない融資に取り組んでおります。 ・経営者保証に関するガイドラインに基づき、担保及び保証人が不要な融資商品「POWER アシストV」を創設いたしました。
3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献		
(1) 地域の面的再生	・ビジネスマッチングの推進	・ビジネスマッチングの専担者を本部におき、営業店長と連携しながら、取引先のビジネスマッチングに取り組んでおります。 ・県内の東部 4 金庫共催のビジネスマッチングフェアをはじめとする、各種ビジネスマッチングフェアへ参加する取引先企業を募り、新たなビジネス機会を提供いたしました。 ・平成 25 年度版のビジネスマッチングガイドブックを発刊し、このガイドブックにもとづき商談や取引が成立いたしました。
(2) 地域活性化につながる多様なサービスの提供	・ふじしん経済研究会の活用 ・相談プラザでの活用 ・インターンシップの受け入れ	・ふじしん経済研究会による講演会や経営塾の開催を通じ、経営者や次代の経営者のサポートに努めております。 ・相談プラザを活用し、ローンや年金に関するご相談の他、原則として毎週木曜日には税理士による税務相談も継続して受け付けております。 ・地域の小学生による職場見学、中学生、高校生、大学生の職場体験学習を受け入れました。

経営改善支援への取組実績(平成25年4月～平成26年3月)

(単位:先)

	期初 債務者数	うち経営改善支援 取組み先数	αのうち期末に債務者区分がランクアップした先数	αのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数	αのうち再生計画を策定した先数	経営改善支援取組み率	ランクアップ率	再生計画策定率	
			β	γ	δ				
	A	α	β	γ	δ	α/A	β/α	δ/α	
正常先 ①	2,364	0		0	0	0.0%		-	
要注意先	うち その他要注意先 ②	484	15	0	13	15	3.1%	0.0%	100.0%
	うち 要管理先 ③	5	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%
破綻懸念先 ④	85	5	0	0	5	5.9%	0.0%	100.0%	
実質破綻先 ⑤	31	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
破綻先 ⑥	17	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	
	小計 (②～⑥の計)	622	20	0	13	20	3.2%	0.0%	100.0%
	合計	2,986	20	0	13	20	0.7%	0.0%	100.0%

- (注)
- ・期初債務者数及び債務者区分は平成25年4月当初時点のものです。
 - ・債務者数、経営改善支援取組み先は、取引先企業(個人事業主を含む。)であり、個人ローン、住宅ローンのみの先を含みません。
 - ・βには、当期末の債務者区分が期初よりランクアップした先数を記載しています。
なお、経営改善支援取組み先で期中に完済した債務者はαに含めるもののβに含めていません。
 - ・期初の債務者区分が「うち要管理先」であった先が期末に債務者区分が「うちその他要注意先」にランクアップした場合はβに含めています。
 - ・期初に存在した債務者で期中に新たに「経営改善支援取組み先」に選定した債務者については(仮に選定時の債務者区分が期初の債務者区分と異なっていたとしても)期初の債務者区分に従って整理しています。
 - ・期中に新たに取引を開始した取引先については本表に含めていません。
 - ・γには、期末の債務者区分が期初と変化しなかった先数を記載しています。
 - ・みなし正常先については正常先の債務者数に計上しています。
- ・「再生計画を策定した先数 δ」=「中小企業再生支援協議会の再生計画策定先」+「RCCの支援決定先」+「金融機関独自の再生計画策定先」